



特定

事業所 訪問

を

特定事業所加算を取得している事業所を訪問するこのコーナー。今関心のあること、力を入れていること、ざっくばらんにうかがいます！

ケアマネセンターながお

(兵庫県尼崎市)

サ担当者会議にACPを入れて 週2回の勉強会でスキルアップ



北村浩子 さん 所長

ケアマネジャー 8人(8名常勤、1名育休中)

特定事業所加算Ⅱを取得

うちはクリニック併設の事業所で、ケアマネジャーの数からいっても尼崎市では大きい方だと思います。昨年10月に特定事業所加算をⅡにしましたが、それまで約1年間はⅠでした。重度の方を40%にする加算要件を満たすことが負担になり変更しました。在宅看取りに力を入れていることもあり、利用者に入れ替わりも激しいと思います。ですから、毎月特定Ⅰの維持はしんどかったので管理者としては気分的に楽になりました。が、収入面では厳しいので、今は特定Ⅳ取得に向けて励んでいます。

うちは、特定Ⅳ取得の条件であるターミナルケアマネジメント加算取得は問題がないため、「退院・退所加算」の医療連携に力を入れています。ただ、「カンファレンス参加あり」の加算に必要な職種を全員集めるのが不可能に近く、カンファレンスを開いても「カンファ

レンス参加なし」でしか算定できていないのが現状です。末期がんなりの急な退院で、退院前カンファレンスが間に合わなかったりもします。

これだけ看取りをしているクリニックの居宅なのに特定Ⅳが取れていないと恥ずかしいので頑張ります。ただし、加算を取るのがすべてではありません。でも加算を取るということはそれだけのことをやる事業所として認められることだと思っています。

うちの法人の特徴は、さまざまな勉強が出来ることです。特に毎週水曜は昼の30分に「白熱教室」という勉強会が開かれ、法人内の医師、看護師、PT、事務員、ケアマネなど全員が参加します。主に理事長の長尾和宏先生が病気や制度について解説をします。また、毎週月曜日には、法人全体の会議が始まる15分前に、医師、看護師、

PT、ケアマネの部が持ち回りで事例紹介を行います。ケアマネの事例に対して医師や看護師の意見が聞けて、これだけ勉強ができる事業所は他にはないと思います。

今、取り組んでいることは、サービス担当者会議の中にACP(人生会議)を入れることと、ケアプランに防災も入れていくことです。どちらも日常からの備えであり、ACPや防災を意識していくことは大切で、尼崎市ケアマネジャー協会でも取り組んでいます。

地域づくりにケアマネの参画が叫ばれていますが、主役である住人が気軽に集まれる場所があれば、そこから地域の力が生まれます。私の夢は、子どもも大人も誰もが通える楽しい集い場づくり。認知症の方や障害者や高齢者といった単語で括らずに、皆と一緒に住める地域づくりを考えたいです。

月刊 ケアマネジメント

2月号

特集



こっただけは押さえてたい

住宅改修

連載

統合ケアマネジメント事例検討会

人権の国で学ぶ 介護福祉士の
カナダの福祉 最新レポート